

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|---------------------------|-----|------|-----------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人長岡福祉協会高齢者ケアセンターこぶし園 | 代表者 | 吉井靖子 | 法人・事業所の特徴 | 築き上げてきた暮らしを支える。ご利用者の生活・介護（暮らし）を支えることを念頭に置き、日常生活の支援を行っています。中重度方でも安心してご自宅での生活が継続できるよう訪問を中心とし通い・宿泊の利用調整を行い援助しております。今まで暮らしてきた生活のスタイルを崩さず要介護状態となってもご自宅で暮らせるように、ご利用者一人一人に寄り添った柔軟な支援をしています。また複合型施設の特徴を生かし、他事業所とのご利用者の交流や地域の方の協力のもとさまざまなアクティビティを取り入れ活動を行っています。 |
| 事業所名 | 小規模多機能型居宅介護千秋 | 管理者 | 梅田正和 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 0人 | 4人 | 0人 | 10人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|---------|-------------------|---|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | | | 全職員の意見を踏まえ話し合いが行っている。改善計画についてより具体的な計画を立てる必要がある。事業所として職員が考えた計画に対して出来る限り寄り添って進めてほしい。 | 自己評価を行う前に再度、評価内容質問に対して職員間で評価方法について学習の機会を持ち、各項目について職員の理解を深めるとともに、改善計画に対する取り組みや問題点を明らかにし具体的な改善計画がたてられるようにする。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | | | 商業地にあり、何かの目的（用事や相談）がないと入りにくい。地域の方にアピールが必要。センターの施錠時間は、17:00 から翌朝 8:30 となっている。施錠時間が解りづらい。季節感を感じるしつらえになっている。 | センター施錠時間を入口に解り易く掲示。防犯等の目的のため施錠は継続して行うが、24 時間いつでもインターホンで対応し面会等はいつでも対応している。サポートセンター千秋での行事を近隣町内（町内会を通じて）回覧板等を利用して頂きながらお知らせしていく。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | | | 商業地にあり回覧板等が回ってこない事もあるが、事業所も情報を取り入れる仕組みが足りず地域での行事などの把握が不十分。 | 年度初めなどの節目には、関わっている地域の町内会長さん（古正寺地域を中心とし）に依頼し地域の年間行事計画を教えて頂く。小規模の活動の中に参加が可能な地域行事への参加を盛り込み計 |

| | | | | |
|---------------------------------|--|--|---|--|
| | | | | 画を立てる。 |
| D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み | | | 近隣他サービスを利用している人と比べても外出など多く活動している。自身の利用者だけでなく、近隣や地域の方にも目を向けて送迎や訪問を行うと良いのではないか。 | 関わっているご利用者近隣にも意識を向け支援する。地域の関わりについて「年間研修計画」に予定を入れ学習の機会を設ける。相談を受けた際に関連機関へすぐにつなげられるように体制を整えるとともに、関連機関連絡網を作成し持参する。 |
| E. 運営推進会議を 活かした取組み | | | 事業所の取組みだけでなく、ご利用者の変化・自立支援に対する取組み・個別で対応している事例など知りたい。 | 取り組んでいること・事故報告（ヒヤリハット報告）・対策を運営推進会議で報告しご意見を頂くとともにアドバイスを頂く。運営推進会議に参加されている代表者からも地域の取組みなど確認検討する時間を設ける。 |
| F. 事業所の 防災・災害対策 | | | 運営推進会議の際に避難訓練を計画しており参加・見学したことがある。災害時には頼りにしている。災害があった時には地域の方が避難してきても食糧など備蓄はあるのか知りたい。 | 今後も運営推進会議を利用し防災訓練に参加して頂き緊急時の対応を知って頂く。同時に防災委員を中心に地域の方も訓練に参加できる体制を作る。センターの防災計画・備蓄品・消防設備など参加された方に書面で配布し避難場所になりうる施設であることを知って頂く。火災以外の水害や地震の訓練も計画する。 |